







太平洋戦争が勃発すると日本海軍の零戦は大空に君臨しました。その零戦に唯一対抗出来たのが米海軍の初期型ワイルドキャット 、グラマンF4F-3だったのです。優れたエンジン、「グラマン鉄工所」の異名を取るほど頑丈な機体、そして優秀なブローニングM2 12.7mm機銃を4丁持つ本機は零戦に対し果敢に反撃、太平洋の各地で激戦を繰り広げました。 ところが米海軍はF4Fの新型,F4F-4を 空母搭載の便宜の為に折りたたみ翼とし、機銃6丁装備として送り出します。折りたたみ翼は空母搭載数が増し好評な反面、命を賭して 乗り込む搭乗員達の評判は最悪でした。F4F-3に比べて自重が増し機銃2増加した分、1丁あたりの携行弾数は各240発に減少しました。 結果「零載に比べてF4F-4は上昇力、機動性、速度のどの点に於いても哀れな程劣る。味方のパイロットが零戦と戦って生選したら、 それだけで驚くに値する」これは歴観のエース、かつ対常戦戦法「サッチ・ウィーブ」の提唱者として理論家で知られた第3戦開飛行隊 (VF-3)指揮官 ジョン.S.サッチ少佐の言葉です。 このような事態にグラマン社が出した答えが,XF4F-8 (後のFM-2) でした。装備し たライトR1820 9気筒空冷エンジンは馬力を増大すると共に軽量化を実現しました。また馬力増大に伴うトルク打ち消しの為に垂直尾翼 を高く大型化して対処しました。 これはまたスピン回復特性も良好にする効果も確認されました。不評の機銃の携行弾数は1丁あたり 190発増やして各銃430発とし代わりに搭載する機銃はF4F-3と同じ4丁に戻しました。これでパイロットの不満は解消しました。 身軽 でパワフルとなった改良型ワイルドキャットの大量発注が1943年はじめに行われました。生産はグラマン社が新鋭戦闘機(F6Fヘルキャ ット)の生産で手一杯の為、自動車の量産で実績の高いゼネラル・モータース社(GM)に移管して行われる事となりました。 GMで生産 される機体にはFM-2の呼称が新たに与えられました。 GMはイースタン航空機部門を新設してお家芸の量産技術をいかんなく発揮し てワイルドキャット・シリーズ全生産数の実に7割、4,000機を越える機体を終戦までに生産して、これに応えたのでした。 1943年、 等版の小さな護衛空母カサブランカ級50隻を一年間で建造し就役させる計画が始まりました。FM-2の大量発注は、これら大量に就役す る護衛空母での使用をふまえての策でした。一方正規空母には、グラマンの新鋭戦闘機、F6Fの配備が夏から始まりました。

1943年に生産が開始されたFM-2は、年来にかけて母艦航空隊に配備され実戦投入されました。 その初陣は1944年1月に行われたクエゼリン環礁侵攻作戦、(フリントロック)に於いてUSSマニ ラ・ベイを母艦とした第7直成飛行隊(VC-7)所属の12機によるものでした。 正規空母の華々しい 戦闘の陰で護衛空母に搭載されたFM-2はTBM(アベンジャー攻撃機)とコンビを組んで裏方稼業 の上陸作戦に於ける上陸支援や着弾観測等の地味地な任務をこなす目立たない存在でした。 1944年10月のフィリピン・レイテ島上陸作戦では、これを阻止しようとする日本の戦艦、巡洋艦 を主力とする水上艦隊が米護衛空母艦隊に戦いを挑んだ「サマール島沖海戦」では、日本艦隊の 激しい砲撃で護衛空母ガンビアベイを撃沈され、他にも数隻が損傷を受けながらも落下する砲弾 や林立する水柱を物ともせず搭載機FM-2とTBMを発進させ日本艦隊に果敢に立ち向かったのでし た。空からの激しい反撃に遭った日本艦隊はレイテ湾突入を断念。日本海軍連合艦隊は、この海 戦での損害から戦力の回復が出来ず事実上壊滅しました。 それまでジープキャリアーと呼ばれ 格下に見られていた小さな護衛空母と、その搭載機、FM-2は一躍脚光を浴び海戦のヒーローとな りました。 米海軍戦闘機パイロット達はパワフルで軽快、「ホット」なFM-2に愛着を寄せて「 飼い慣らされたネコ」の、F6FよUFM-2に乗る事を好んだと云う。 まさにアメリカン・スラン

(C) Copyright SWEET 2002 All Rights Reserved

グのワイルドキャット、「おてんば娘」を乗りこなすに相じるフィーリングである。

TEL&FAX: 81-54-667-1323 E Mail: nasa@yj8.so-net.ne.jp

SHIZUOKA, 421-1131 JAPAN.

AVIATION MODEL DIV

SWEET Aviation Model Div...

1633-12, UTSUTANI, OKABE, SHIDA-GUN

ダークガルグレー

ITEM 14103

FM-2ワイルドキャット

T421-1131 静岡県 志太藤 岡部町 内谷1659-12 TEL&FAX: 054-867-1323 E Mall: nasa@y|8.so-net.ne.jp SWEET Aviation Model Div...

Made with a PRINTED IN JAPAN